

こんにちは ブラインテックです

第57回 横浜女子短期大学図書館 2010年8月

横浜の港南台駅から徒歩5分程のアクセス至便なエリアにある横浜女子短期大学を訪問しました。こちらは保育学科の単科短期大学です。受け入れは女子のみに限られています。学校創立は戦前で、2010年冬には創立70周年を迎えます。長い歴史のある短期大学の図書館を、ご担当者の高橋様、原様にご案内いただき、お話をうかがいました。

——まず始めに、貴学のご紹介と特色をお伺いできますか。

昭和15年12月に横浜保姆学院が創立され、昭和23年に厚生大臣指定の保育養成校となりました。その後、昭和24年に横浜保育専門学院に改称され、昭和41年に白峰学園設立、横浜女子短期大学設置認可へと至っています。

本学の特色は、キリスト教の精神に基づいた教育を行っているということなのです。また、1学年200名と小規模ですので1人1人に目が行き届いていますし、教育・保育実習があるため、学生はよく図書館を利用していることも挙げられます。就職率はほぼ100%となっています。主な就職先は、幼稚園・保育所・福祉施設などです。



——お話に出た学生の保育現場での実習では、子どもたちとの遊びや読み聞かせなどにも使う紙芝居や絵本などが大人気の様ですね。女子のみの受け入れということもあり、館内も綺麗に使われているように感じられます。

現在の図書館は昭和62年10月に落成しました。20年が経過しますが、確かに女子だけの利用ということもあるため綺麗ですね。蔵書11万冊と比較的多いのは、学校側が図書館の意義を感じているためだと思います。蔵書の構成は、幼児教育、保育、児童福祉など専門図書が中心となっています。

授業との連携では、授業内に図書館ガイダンスを行い、授業時間外に図書館でもレポートの相談が受けられるようにフォローを行っています。また、教育・保育実習では、実践的な資料や絵本・紙芝居などが多く借りられており、学生一人あたりの年間貸出冊数は、ここ数年平均約30冊となっています。卒業生の利用が多いのも当館の特徴ですね。



館内レイアウトや新着図書・DVDには学生の意見もとり入れています。新着図書コーナーには流行物や女学生が好みそうなエッセイなどが多いですね。3階の閲覧室は中央に机を置き、広々とした空間となっています。ヒットソングなどの楽譜の利用も多いですよ。

——学生にとってもオープンな図書館であると感じられます。図書館から学生へ様々なかたちで働きかけをされているようですが、具体的にはどのようなことをされているのでしょうか。

ひとつは「1日1回図書館へ」キャンペーンです。これは、学校へ来たらファッション誌を読みに来るのでも、友だちとの待ち合わせでもいいので、図書館へ足を運んで欲しいという思いから始めました。図書館へは理由がないと来づらいというのが学生たちの本音かと思いますが、私たち職員は堅苦しく考えずに息抜きやリラックスに来て欲しいと思っています。

また「図書ラリー」も行っています。3年前からの試みなのですが、学生同士でお勧めの本を紹介し合ってもらい、雑誌の付録などをプレゼントする企画です。利用頻度の高い学生に声を掛けて図書の紹介をしてもらっています。これにはウェブ版もあって、始めて2年目になります。ウェブ版は卒業生にも参加してもらえるようにと作成し、今後も続けていきたいと思っています。

それ以外にも、学生16名で構成される図書委員では「図書館報」を発行・配布をしています。学生たちに読んでもらえるように、これも利用頻度の高い学生とコラボレーションして、本に馴染みのない学生を誘導していきたいという試みです。また、「選書ツアー」も年に2～3回行っていますが、学生によって選ばれた本はどれもとても人気です。

少し大変だなと思っても喜んでいる学生の顔を見れば嬉しいと思えますし、忙しい学生生活の中の楽しい場所でありたいとも思っています。



——卒業生はじめ附属幼稚園保護者、実習園関係者、高校生（女子・夏季のみ）へも貸出があり、現場で働く人たちなどにも大変好評とのことですね。職員の方々の多方面にわたる努力は素晴らしいものであると感じます。学生や卒業生たちにもその思いは伝わっていくと思います。ところで、20年前から「情報館」シリーズをお使い頂き、最近では「Jopac」や「レシートプリンタ」をご導入いただきましたが、ご利用いただいているご感想はいかがでしょう。

1990年に他短大様の導入事例を見学に行き、蔵書数も多いのでそれに見合ったソフトとして購入しました。

館内での検索はOPAC IIを使用しています。また、2006年に「Jopac」を導入、館外での資料検索も可能となりました。「Jopac」で予約が管理できるといいなと思います。

「レシートプリンタ」は最近導入したのですが、これには色々なメッセージを入れることができとても便利です。レシートを利用して、本を持ってこなくても貸出延長ができるようにしたり、貸出中の資料の確認などにも利用しており、大変役に立っています。また、レシートのメッセージ欄に印字されたポイントを集めると雑誌の付録や図書館グッズをプレゼントするといったキャンペーンを行ったり、夏季や年末年始の長期休暇案内などのお知らせとしても活用しています。これによって学生とのよいタイアップがとれていると思います。

導入ユーザ数は850件とのことですが、サポートも迅速な対応で助かっています。これからも、変わらず良いサポートを期待しています。

貸出レシート(Receipt)

横浜女子短期大学図書館

Tel : 045-835-8115

処理日 : 2010年07月07日(水)

[利用者コード : 000036]

1 : 貸出(CheckOut) D0344

スパイダーマン3

返却予定日 : 2010年07月21日(水)

新入生歓迎キャンペーン実施中!

★このレシート1枚で10ポイント進呈★

1年生は100ポイント、2年生は200ポイント、
園児は50ポイントで
図書館グッズをさしあげます。

2010/07/07 17:44

——ありがとうございます。これからも迅速かつ丁寧なサポートを心掛けてまいります。学生たちとのタイアップはもちろんのこと、職員の方々自身が日々読書を継続される精神と学生たちへの想いの深さに感動いたしました。これからも、学生たちと密な関係を築きながらのますますのご発展をお祈り申し上げます。

横浜女子短期大学図書館

YOKOHAMA WOMEN'S

JUNIOR COLLEGE LIBRARY

〒234-0054 神奈川県横浜市港南区港南台4-4-5

TEL. 045-835-8115

<http://www.yokotan.ac.jp/library/>

※ 一般公開はしていません。

